

ギオントライツク ガスマシチュエーシヨン

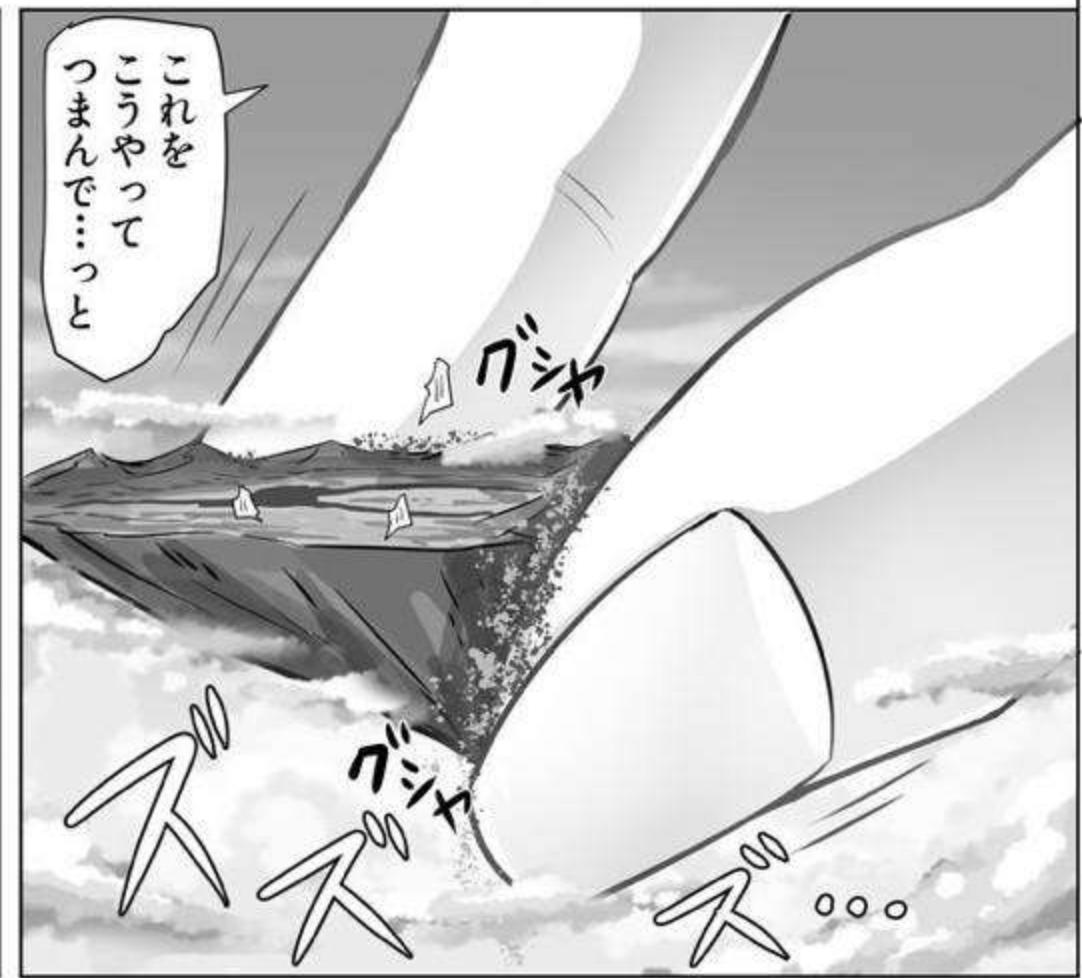
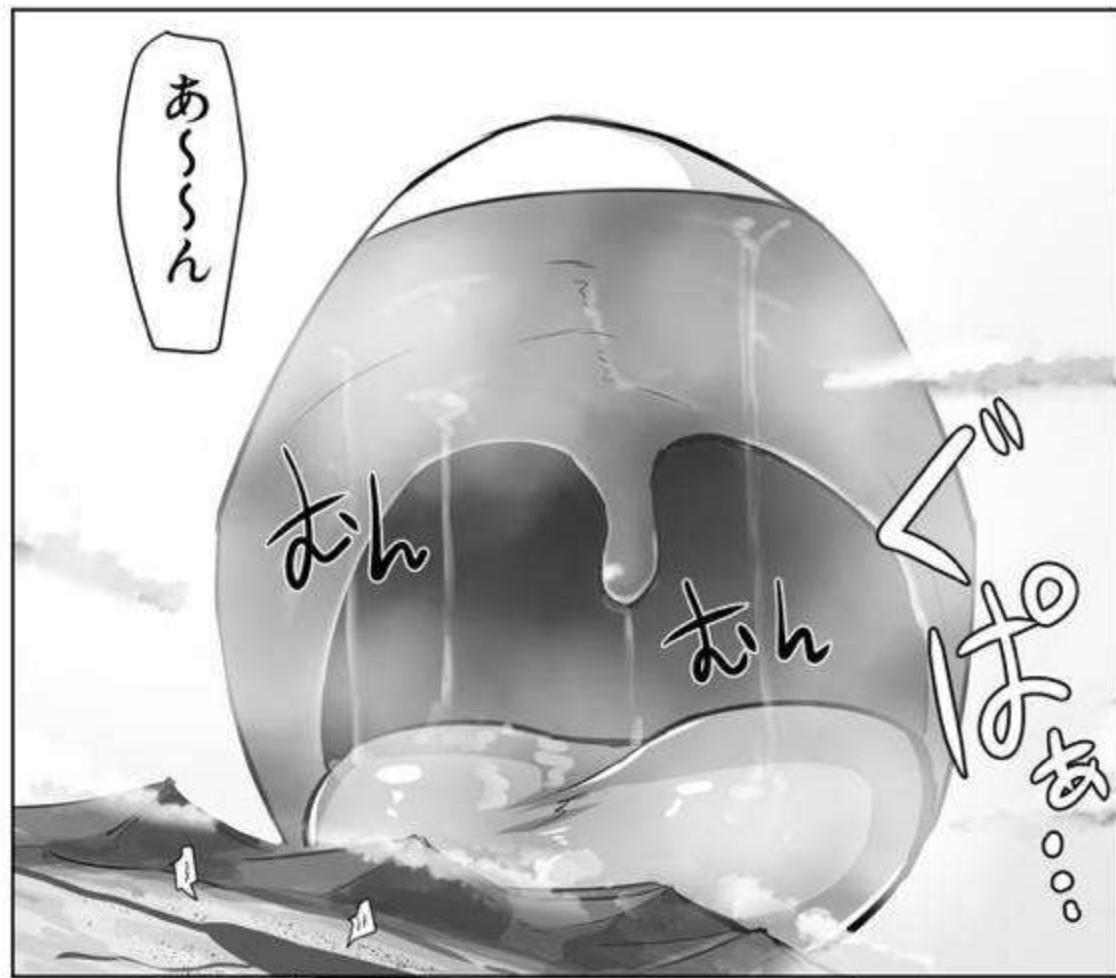
R-18

ギガスガ
巨大フェチ向付

作：寺田葱子、rakia











二人のプリンセスの尻が合わさる。黒とピンクの下着をまとった巨大な丸みが島々の上にかざされた。人々に逃げ場はなかった。騎空艇で脱出を試みるものも居たが、姫達の尻は一つの空域を丸々覆う程巨大であり、どこまで行っても下着の天井からは逃げられない。自分の尻の下で絶望する数百万、数千万もの小人達の事などまるで気にすることもなく、姫達の放屁は唐突に始まった。

空の世界に爆音が響き渡る。その瞬間に、アンとグレアの尻の周辺に存在していた浮遊大陸は音圧で揉み潰され、吹き荒れるガスの嵐にホコリのように舞い上がった。空域を消し飛ばす威力の放屁が正面からぶつかり合い、行き場を無くしたエネルギーが周囲に広がり雲海を薙ぎ払っていく。浮いていた島、騎空艇、魔物たち、存在するもの全てが二人の姫の放屁という災害に飲まれ、塵と化していった。

複数の空域が壊滅。無事なものはアンとグレア以外、何も存在しなかった。世界は静寂に包まれ、時間は二人のためだけに流れる。邪魔するものが何も無くなった今、姫達はゆっくりと休暇を楽しむのだった。



■サークル おちこにうむ
■代表 寺田落子
■発行日 2019/08 C96
■Twitter @teradaochiko
■pixivID 277281
■連絡先 ragnarok1129
@hotmail.com
■印刷 株式会社サングループ様